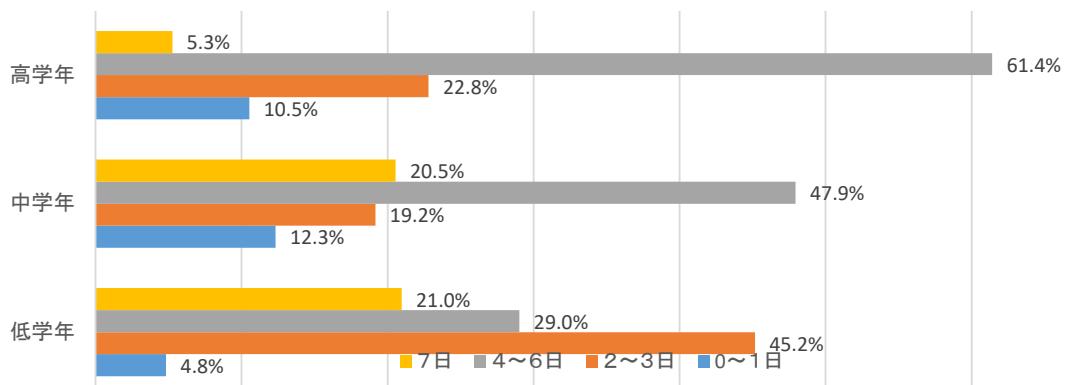


家庭学習アンケート

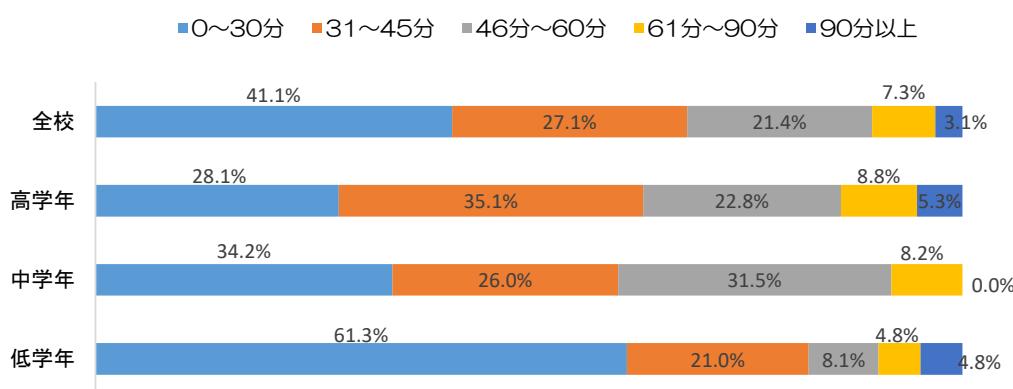
学校では、学習内容を充実させるとともに、「家庭学習を習慣化すること」も大切にしています。そのため、家庭学習に関する指導をさらに良くするために、アンケートを行いました。今回は、その結果をご報告いたします。

①1週間の学習日数



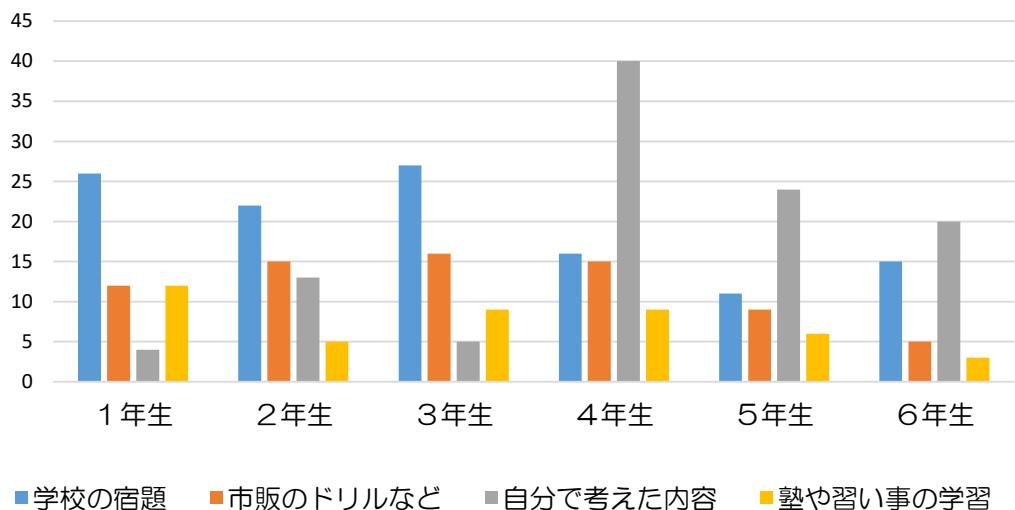
学年が上がるにつれて家庭学習の頻度が増加していることが確認されました。特に高学年では、ほぼ毎日学習をしている児童が多く、しっかりとした学習習慣が身についています。一方で、低学年のうちはまだ家庭学習の習慣が確立されていない児童が多いため、今後は低学年の段階から学習習慣を身につけるためのサポートが重要となります。

②1日の学習時間



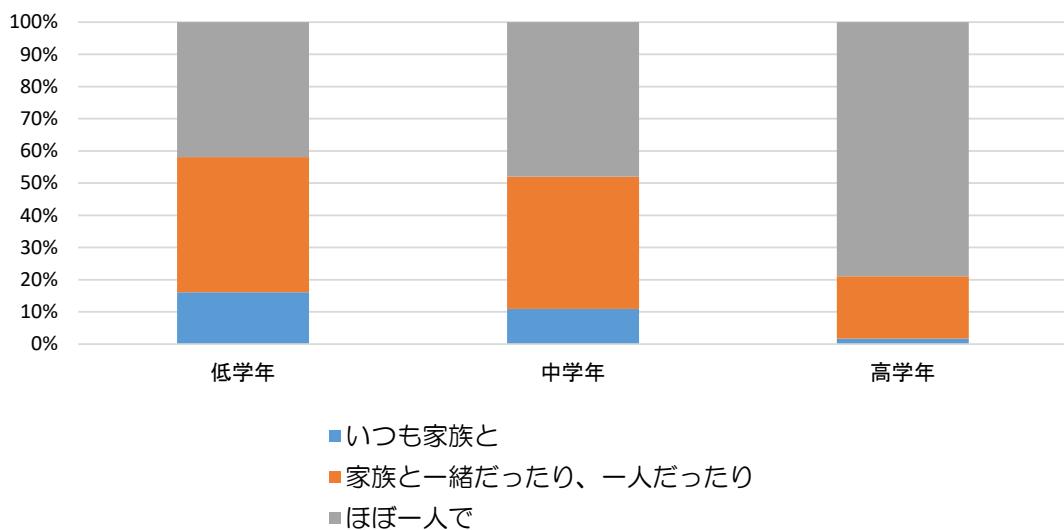
多くの児童が毎日30分から60分の学習に取り組んでいることがわかりました。この時間は、全国の平均的な家庭学習時間と比較しても、おおむね標準的な範囲にあります。家庭学習の時間は、児童の学年や学習進度などにより異なることもありますが、毎日の積み重ねが大事です。

③家庭学習の内容(延べ人数)



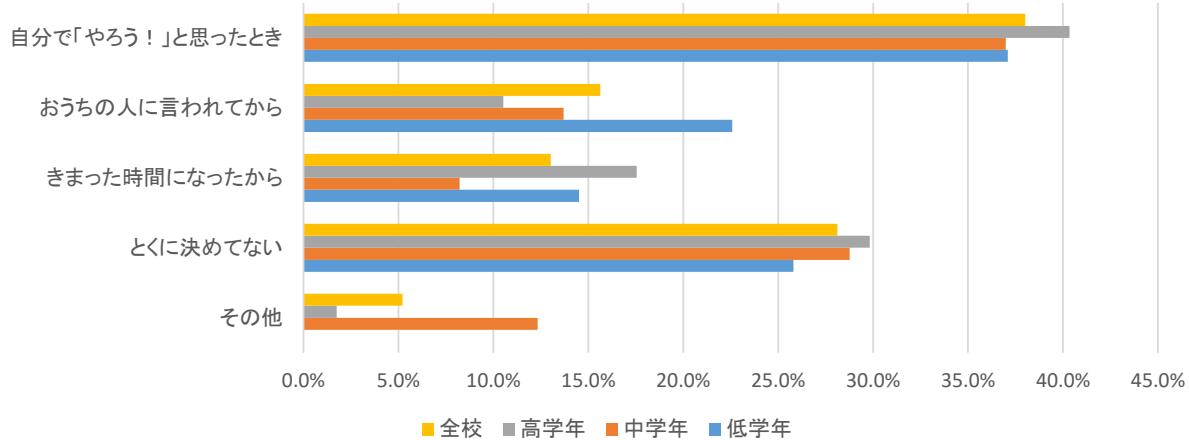
「学校の宿題」が多くの学年で重要な学習内容を占めており、特に低学年では学校からの宿題に取り組むことが中心となっています。しかし、学年が進むにつれて、「自分で考えた内容」の割合が増加し、子どもたちが自分で学ぶ意欲を持ち、自由に学習することができるようになっていることがわかります。

④家での学習の仕方



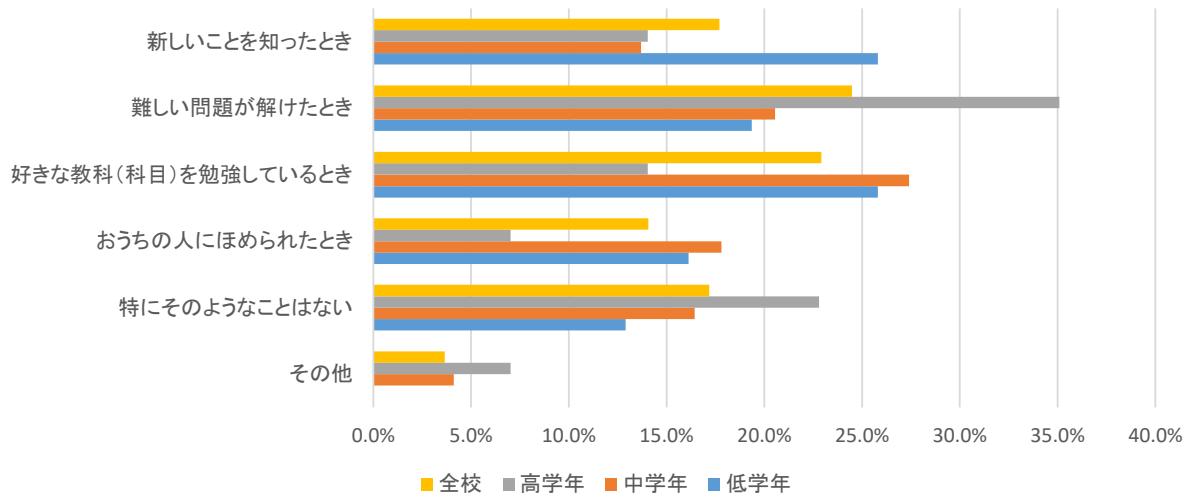
学年が進むにつれて、家庭学習における保護者の関与は徐々に減り、児童が自分で学習を進める時間が増えていくことが見受けられます。低学年のうちから家庭学習の習慣を身につけさせ、次第に自立して学習できる環境を整えていくことが大切です。家庭学習については、保護者の方々のサポートが引き続き重要であり、子どもたちが自分で学ぶ力を養えるような環境づくりをお願いします。

⑤宿題や家庭学習を始めるのは、 どんなときが多いですか？



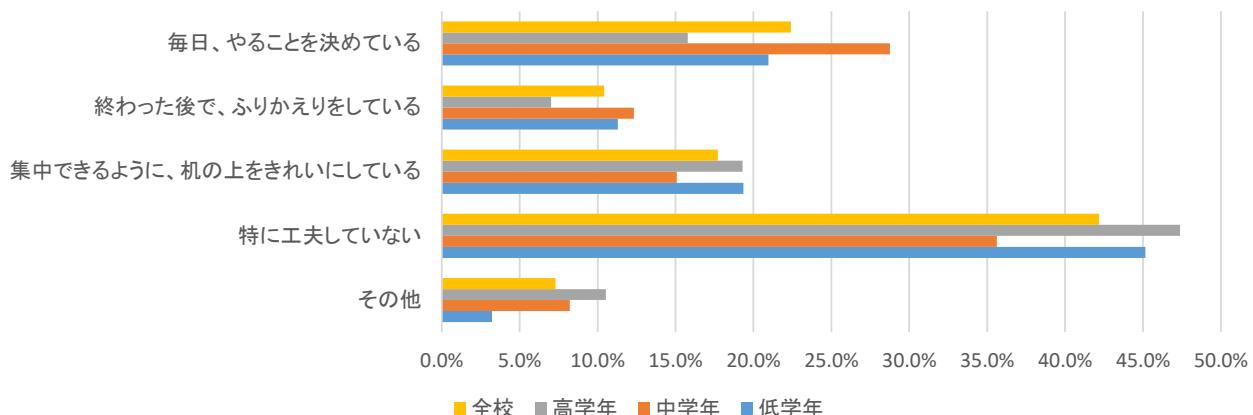
低学年は、「おうちに人に言われてから」が多く、家庭での声かけが非常に重要です。中学年は、学習に対する自主性が育ちつつある段階です。高学年は、「自分でやろうと思ったとき」が最も多く、自立した学習が進んでいることがうかがえます。それでも、「きまった時間になったから」で学習を始める児童もあり、規則的な時間設定は引き続き有効です。

⑥勉強をしていて「楽しい」「もっと知りたい」と思うのは、 どんなときですか。



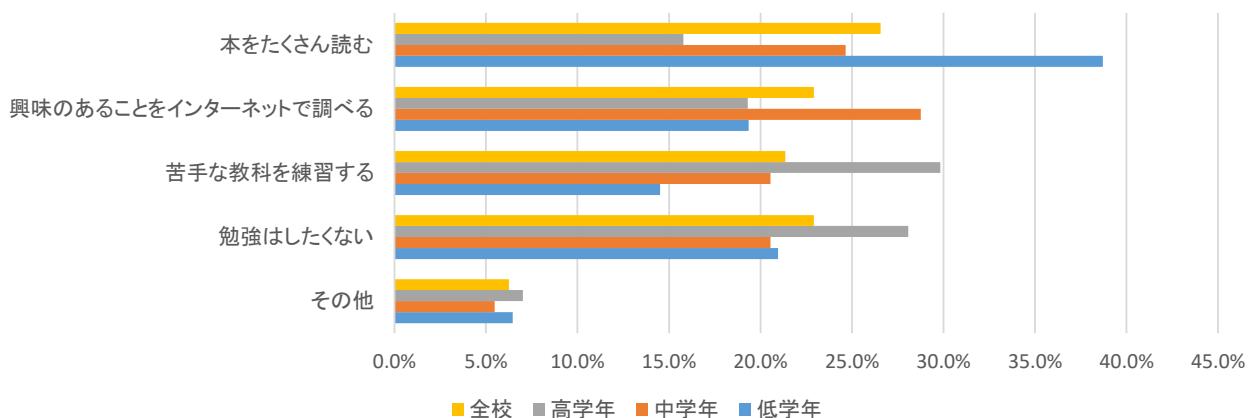
最も多い回答は「難しい問題が解けたとき」で、理解の達成感が学ぶ楽しさを支えている様子が見られます。次いで「好きな教科(科目)を勉強しているとき」「新しいことを知ったとき」が多く、勉強への楽しさや意欲は知的好奇心や自分の興味と強く結びついていることがわかります。また、学年が上がるにつれて、「知る楽しさ」から「できる喜び」へと、学びの楽しさの源が変化しているようです。今後は、学年に応じて、好奇心を刺激する学び(低学年)から、挑戦を通して達成感を得られる学び(高学年)へと発展させる支援が大切です。

⑦家庭学習で、自分で工夫していることはありますか？



高学年では自分のペースで学習を進める力がついてきて、あえて「毎日やることを決めている」必要性を感じていない、または自分で計画を立てることができると考えている児童が多いと言えます。対照的に低中学年では、家庭学習に対してまだ決められたルーチンを守ることを必要としています。

⑧もし、時間がたくさんあったとしたら、どんな勉強をしてみたいですか。



学年ごとに異なる学習への関心や態度が明らかになりました。低学年は「本をたくさん読む」ことに特に強い関心を示し、インターネットを使って調べることにも高い興味を持っていることが分かりました。中学年は、インターネットで調べることに最も高い関心を示しており、他の選択肢にも比較的均等に興味を持っている傾向がありました。高学年は、苦手な教科を練習したいという意欲が高い一方で、「勉強したくない」と感じる児童も多く見受けられました。

【保護者の皆様へ】

普段から、子どもたちが「学ぶ楽しさ」「できる喜び」を感じるよう、家庭学習にご協力いただき本当にありがとうございます。

低学年のうちは家庭学習の習慣を身につけることが大切です。学年が進むにつれて、児童が自分で学習を進める力を育むため、家庭学習の時間確保と学習環境の整備にご協力ををお願いいたします。中学年から高学年にかけては、学習への自主性や計画性が育成されてきています。今後は、担任が児童と接する時間を十分に確保するためにも、家庭学習の点検機会を少なくしたり、家庭で完結したりできるような方法を検討したいと考えています。